



# よもぞうくん通信 春号

4月23日から5月12日まで「こどもの読書週間」です。本を読む面白さを知り、本と仲良くなる週間です。絵本を読んで本の楽しさを知り、子どもたちの世界を広げましょう。

## おすすめ

### 図書館司書が選ぶ 押し絵本

下にいくほど対象年齢が上がります。



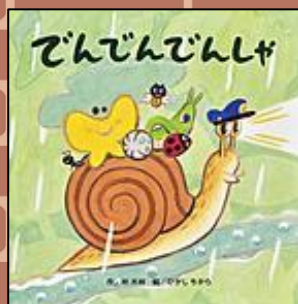
「かさちゃんです。」  
作 とよた かずひこ  
雨が降った日は、かさちゃんの出番。「ぱっ!」と開いて雨の中を「ぴちゃぴちゃざーざー」進みます。雨の日が楽しくなる絵本。



「はるのごほうび」  
作 内田 麟太郎  
春です。空にぶたさんが浮かんでいます。ねこさんも、かえるさんも。「どうしてそらにかべるの?」うしさんが聞くと……。のんびりのどかな、春の絵本。



「はるかぜさんぽ」  
作 えがしら みちこ  
お気に入りのワンピースを着て、おさんぽスタート! 最初に出会ったのは、ひらひらきれいなさくら。次は、春風にふわふわ漂う、シャボン玉。



「でんでんでんしゃ」  
作 林 木林  
「ざざあーっ」と雨が降り出した。虫たちは、葉っぱの下で雨宿り。するとそこにでんでんむしの、電車が到着。の〜んびり進みます。



「ぽんぽこあめふり」  
作 田中 友佳子  
雨が降ってきたけど、もっと遊びたいぽんた。すると雨が大好きな、あめふりこぞうに「あそぼう」と誘われます。雨の日でも遊びたくなる絵本。



「ふうとはなとたんぽぽ」  
作 いわむら かずお  
春の野原に遊びに来た「ふう」と「はな」。そこで出会ったのは、たんぽぽやてんと虫、べにしじみにミツバチ。二人の名前の素敵な意味を教えてください。



「はるのにわで」  
作 澤口 たまみ  
暖かい日差しが差し込む庭に咲く、満開の花の中で目覚めるアマガエル。そこへ花粉を集めに来たマルハナバチ。小さな庭でおきている日常が優しい絵で描かれます。



「サクラ」  
はる なつ あき ふゆ  
作 おくやま ひさし  
身近にあるよく知っている植物でも、じっと観察してみると新しい発見があります。春になると満開の花を咲かせる桜。桜の一年間をじっくり観察してみましょう。

中央図書館・新湊図書館 開館時間 平日9:30~18:30 土・日・祝日9:30~17:00  
正力図書館・下村図書館 休館日 毎週月曜・第一木曜日・祝日の次の日  
毎月の各図書館からの詳細は、HP をご覧ください。